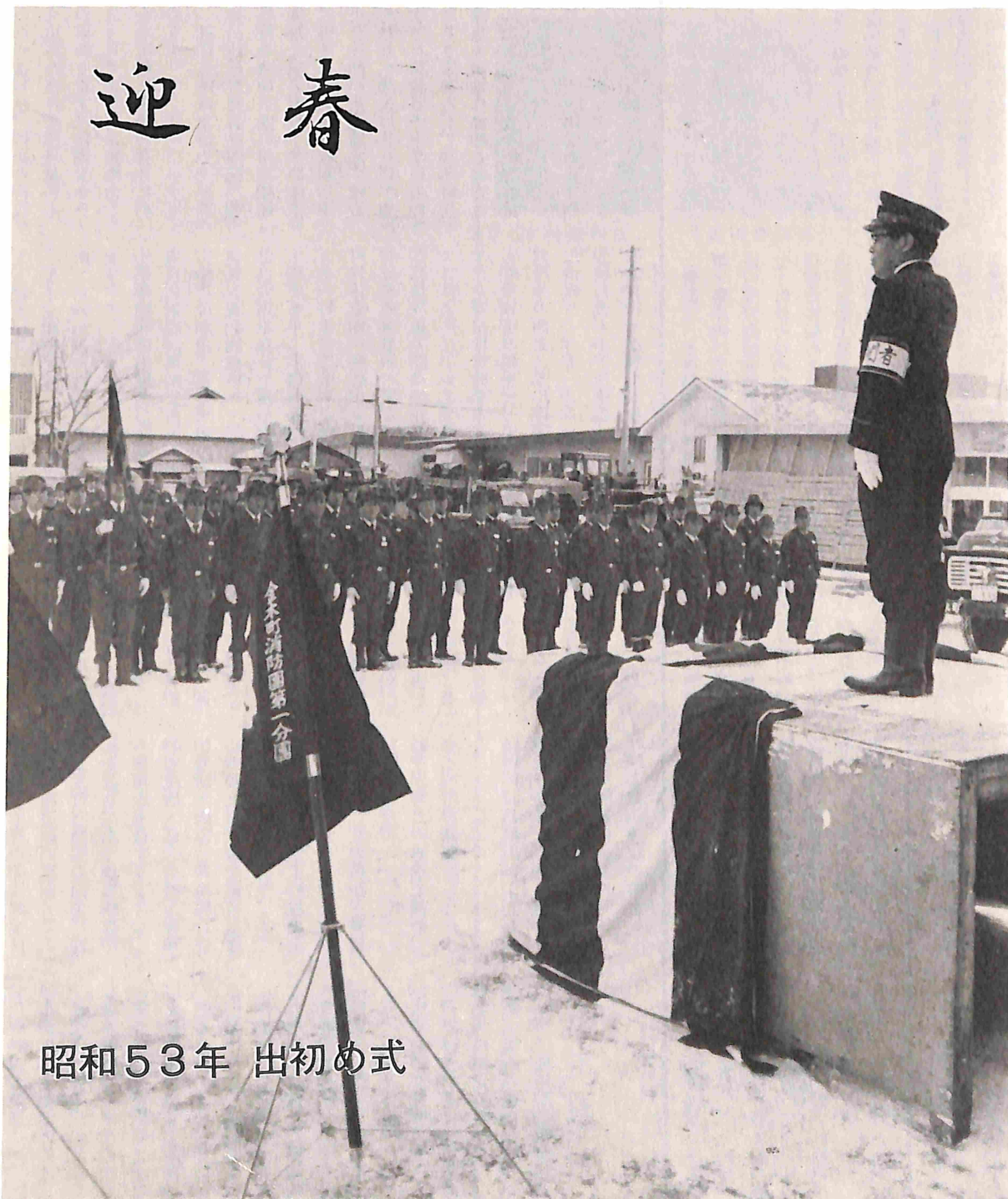


金木 だより

発行 青森県金木町役場
編集 企画 室

昭和53年 1月号



昭和53年 出初め式



金木町長

大橋忠勝

昭和五十三年元旦に際し心から御祝い申し上げます本年も町民各位には揃って健康であり、繁榮されま

さて、助役・収入役・固定資産評価員空席のまま一期終了するやに思われましが、遂に今議会で助役と収入役人事の承認を得るに

いたりました。否決に否決を重ねただけに感無量のものであります。任期もあと三ヶ月ですが、三役協力し合って残任最後の善政に努めます。

し上げます。五十三年度「豊かな金木町」は次の点で飛躍いたします。

①嘉瀬財産区用地(百町歩) 喜良市財産区用地(五百十町歩)の利用ー競馬場の誘致(現在調査中)

②弘大用地払い下げの実現を期する年。旧競馬跡地(十一町歩)に金木中学校町民体育館、総合グラウンド野球場建設計画の策定。

③高長根頂上開発開始(キャンプ・フィールドアスレチック等用地買収済み)

④町営牧場の観光化、湯の沢冷泉の開発(本年度予算化済み)

⑤統合金木小学校建設

⑥喜良市小学校給食施設建設

⑦温泉ボーリング(賽の川原)、公園遊歩道、猿山、太宰資料館の完成・充実。

⑧更生部落・旭ヶ丘・芦野公園・川倉老人憩の家・時田老人憩の家等完成、集会場が全域に網羅されたが、さらに既設集会場の改善に努める。

⑨現在当町は県下町村中最多の工業経営者数を誇っているが、これの維持・発展に努める。

⑩中里町との疎通を深め、金木病院の新築を具体化する。

⑪自然休養村事業の開始。

⑫商工会館建設の策定。

⑬川倉林道の開通。

⑭小田川圃場整備の促進。

最後に、五十三年度豊かな金木町づくりは次の観点に立って努力いたします。

(イ)水田利用再編という国政の波に対処するに、如何にして米作程度の高収益作物に転換するかが課題でありこの地域に合致した特産物の育成に努める。

(ロ)商業、工業の盛んな町づくり。

(ハ)太宰の町づくり。

(ニ)自然休養村をはじめ施設の整った観光の町づくり。

(ホ)働き場所の豊富な町づくり(男子雇用型企業誘致など)

(ヘ)新年温泉湧出ボーリング開始、福祉センター建設(賽の川原)

(ニ)自然休養村をはじめ施設の整った観光の町づくり。

(ホ)働き場所の豊富な町づくり(男子雇用型企業誘致など)

(ヘ)新年温泉湧出ボーリング開始、福祉センター建設(賽の川原)

(ニ)自然休養村をはじめ施設の整った観光の町づくり。

(ホ)働き場所の豊富な町づくり(男子雇用型企業誘致など)

(ヘ)新年温泉湧出ボーリング開始、福祉センター建設(賽の川原)

(ニ)自然休養村をはじめ施設の整った観光の町づくり。

金木町議会十二月定例会

は十二月十九日に開会し、会期を十九日から二十二日までの四日間と決め、昭和五十三年度一般会計補正予算、昭和五十三年度国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定)など十三案件が上程され、大橋町長の提案理由説明のあと散会しました。二十日休会の後、翌二

質問は、水田利用再編対策・農産物の品種更新・転作の配分方法と農産物の処分・町長の政治姿勢・歴史民俗資料館の入札・8・5災害復旧工事の見とおし・土地問題の紛糾の早期解決

三役人事・下水道施設・町道の破損箇所の修理・職員定数・出稼き留守家族と少年非行などについて活発な

金木町社会福祉協議会補助金百二十万円、除雪対策費四百万円、昭和四十八・四十九年度に建設された町営住宅の敷地購入費三千三百四十万円など、歳入歳出それぞれ五千三百八十六万五千円が追加かれ、歳入歳出予算総額は歳入歳出それぞれ十七億三千七百五十六万八千円となりました。

の改正、川倉老人憩の家設置条例の改正、同憩の家使用料条例の改正、国民健康保険高額療養費貸付基金の設置及び管理運営に関する条例の件、五十一年度土地開発公社決算書提出の件、

専決処分報告および承認(追加案件) 助役の選任、収入役の選任、教育委員の任命二件、五十三年度一般会計補正予算(第九号)の件

決まる 3千7百万円

町長 大橋忠勝
助役 古川竹夫

第82回 金木町議会定例会

助役・収入役

予算総額は 17億



野宮雄造
昭和三十三年の年頭にあり、金木町議会を代表しまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
町民のみなさん、あけま

町議会議長 野宮雄造

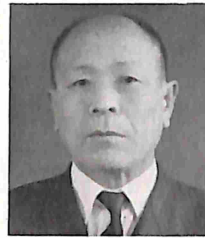
しておめでとうございましてここに希望あふれた新春を迎えるにあたり、町民各位のご清福とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。おかげをもちまして大過なく新年を迎えることが出来ました。これひとえに町民各位のご支援とご協力の賜であるところから感謝の意を表する次第であります。
さて、昨年を顧みますと円高・ドル安に明け暮れた感があります。そして、これに伴い深刻な不況の波

が押し寄せ、その影響は我々の身近にもひしひしと感じられます。
わが町の主な出来事としては、当初懸念された冷害を免がれ、八月五日発生した豪雨により一部農作物に被害を受けた以外、例年被害の台風による被害もないという農家にとっては、比較的恵まれた年であったと思えます。
しかしながら、四十六年度から開始された一連の稲作転換対策が、来年度から

追加提出を含めて十八案件が原案可決となり、四日間の会期を終え午後一時七分閉会しました。
提出された議案は次のとおりです。
▽ 五十二年度一般会計補正予算(第八号)の件、同年度国民健康保険特別会計補正予算の件、同年度霊園事業特別会計補正予算の件、同年度水道事業会計補正予算の件、議会の議決に付すべき契約・財産の取得処分に関する条例の一部改正、職員定数の改正、職員給与の改正、企業職員給与

は更に強化され、米の生産調整の倍増と政府米の買入限度数量の減少という積雪寒冷で、水稲栽培に依存する当町の水稲栽培農家にとつては、誠にきびしい状況となることが予想されます。そして、これらの農業をどのように進めるべきか色々な問題があると思えますが、本年は、なお一層みなさんと力を合わせて、この難関を克服すべく努力をしなければならぬと考える次第であります。

昨年の主な事業としては、蒔田老人憩の家、嘉瀬小学校給食施設が完成、また、県下では四番目に建設される歴史民俗資料館、当町では初めての二階建公営住宅それに遊歩道・猿山を主とする公園施設、その他数多くの事業が進捗しつつあり年度内に完成する予定となっておりますが、まだ当町では教育施設や総合スポーツ施設の整備等の問題が累積しております。そしてこれらの解決を図ることがわ



(木村金利氏)



(古川竹夫氏)

十一日は一般質問に入り、沢田由男・吉田米逸・吉崎正光・成田善蔵・加藤卓爾伊藤清慈の六議員が質問いたしました。

質問、答弁がくりひろげられました。
二十二日は、十九日提出の十三案件を審議のあと、追加提出議案の助役・収入役の選任や教育委員の任命など五案件について審議が行われました。これにより助役に元町議会議員の古川竹夫氏、収入役に前町議会議員の木村金利氏を、また教育委員には山田勝見氏、葛西雪丸氏の二氏が就任いたしました。
五十二年度一般会計補正予算では、地方バス路線維持費補助金三百一万八千円

追加提出を含めて十八案件が原案可決となり、四日間の会期を終え午後一時七分閉会しました。
提出された議案は次のとおりです。
▽ 五十二年度一般会計補正予算(第八号)の件、同年度国民健康保険特別会計補正予算の件、同年度霊園事業特別会計補正予算の件、同年度水道事業会計補正予算の件、議会の議決に付すべき契約・財産の取得処分に関する条例の一部改正、職員定数の改正、職員給与の改正、企業職員給与

新年 賀 謹

町議会

収入役	木村金利
教育長	中谷金四郎
議長	野宮雄造
副議長	竹内武六
監査委員	大橋勇五郎
選挙管理委員会	成田清明
委員長	中西慎一
委員	小山内義美
職務代理	
農業委員会	
会長	白川峰雄
会長代理	木下俊蔵

昨年の主な事業として、蒔田老人憩の家、嘉瀬小学校給食施設が完成、また、県下では四番目に建設される歴史民俗資料館、当町では初めての二階建公営住宅それに遊歩道・猿山を主とする公園施設、その他数多くの事業が進捗しつつあり年度内に完成する予定となっておりますが、まだ当町では教育施設や総合スポーツ施設の整備等の問題が累積しております。そしてこれらの解決を図ることがわ

町民元旦の集い

今年は一二人名が参加

一月一日、金木町中央公民館において、恒例の「町民元旦の集い」が行われまし

た。昨年より新生活運動にちなんで、簡素に開催されましたが、それでも出席者は一二人名のほりまし

た。今回の参加者は次のとお

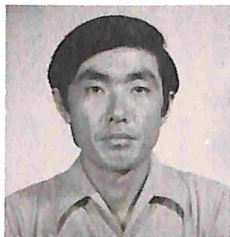
- 大橋 忠勝 花田 一
 原田 一実 野宮 雄造
 白川兼五郎 中谷藤太郎
 川口 晃 村上 光成
 古川 竹夫 木村 金利
 竹内 武六 中谷金四郎
 其田 豊一 加藤 卓爾



- 木村不二男 花田 甚市
 白川 竹治 沢田 茂
 古川 哲雄 大橋勇五郎
 伊藤 清慈 吉崎 正光
 田中 豊蔵 伊藤 清蔵
 永沢 由明 花田 証二
 中西 慎一 白川 峰雄
 平川久次郎 吉田米五郎
 森 敏夫 岩村桑太郎
 山中 久美 櫛引 政雄
 長内 誠治 泉谷亀太郎
 原田 敏雄 小松竹太郎
 成田 悦夫 野呂 正
 斎藤 正弘 三上 明
 中谷 孫一 加藤 正弘
 沢田 政孝 中村美智男
 中村 健司 前田富美衛
 田村ミチヘ 相馬 京子
 木下タミ 片岡八千雄
 伊藤 久雄 宮崎初太郎
 山中 亀一 今 平内
 葛西 忠敬 白川嘉西太郎
 阿部 定一 棟方 兼夫
 珍田福伍郎 佐々木男治
 外崎 栄 白川 清一
 白川 常一 大橋 隆治
 今 金蔵 角田 昭次
 山田 篤之 山中 正津
 工藤与右工 土岐 保正
 佐野 洪 外崎三千男
 津島 慶蔵 大橋 忠雄
 竹内佐右工 竹内 勇
 葛西 武一 中谷 定雄

青森県農業青年士に認定!

三潟春樹さん 吉田俊逸さんの両名



(三潟春樹さん)



(吉田俊逸さん)

青森県が五十一年度から設定した県農業青年士に今年度、三潟春樹さん(川倉)吉田俊逸さん(蒔田)の二名が認定されました。昨年度は徳田誠さん(蒔田)が認定されています。

三潟さんら二名は、五所川原農林高校を卒業後、農業後継者として自らの家業に従事するかたわら、県農業大学等で学び、4日クラブ活動等地域青年のリーダーとして活躍しています。また、その間、経営に計画を設定し、常に営農研究試験を続け、現在では当町の数少ない青年経営主です。農業情勢の厳しい今日、中核農業青年としての今後の活躍が期待されています。

- 工藤房之助 成田松五郎
 前田清次郎 山中 操
 原田 清治 秋元 年一
 津島 俊雄 工藤 定一
 夏坂 富治 沢田 茂昭
 新岡 慶一 和島 定道
 山中 満 今 与八郎
 泉谷 勉 藤田与右工
 藤田 敬子 古川嘉之助
 (順不同・敬称略)
- 逢坂 伸三 鳴海 健吉
 木村 好勝 鳴海登志雄
 石戸谷由雄 其田 輝夫
 成田 清明 高橋 元弥
 田中 芳春 尾野 正二
 藤田 要造 白川兼四郎

やあ
は長です

当町が生んだ太宰治は一九四八年没してすでに三十年、年ごとにブームは増大し燃えている感じがする。作品は数カ国語に翻訳され今や「世界の太宰」である。考えてみれば当町はその点大変な文化遺産に恵まれているのだが、町民の関心は果してそこまで徹しているかどうか……。

年間、学生・一般等八千人が太宰研究等で来町しているのだが、土産・観光記念品等貧弱そのもの、民宿も皆無他所をみると、藤村や啄木出身地はブーム一色で生活している感じ。当町も太宰ブームに応えることさえできれば大きく潤おうこと確実……。それにしても民宿程度は急ぎ欲しいのだが……。

まちの話題

お年寄りに

愛の手を！

金木町商工会青年部では去る十二月二十四日、歳末たすけあい運動の一環として、歳末慈善ダンスパーティーを開催し、その収益金で町内の寝たきり老人と当町出身の中里町静和園入園者へ義援品(下着・バスタオル等)を送りたいと、十二



(商工会より目録を受けとる 協議会長 花田 一氏)

月二十七日、金木町社会福祉協議会(会長花田一氏)へ義援品を贈呈しました。協議会では、これを直ちに配分し、お年寄りたちからその善意を感謝されています。

また、同協議会では、このと同趣旨のもとに、のんき食堂からも同協議会へ現金九千円(募金運動により)が寄付されました。



(昭和26年度 金木中学校卒業生 在京有志のみなさん)

図書を寄贈！

クラス会で

昭和二十六年年度金木中学校卒業生在京有志十七名より、金木中学校に「広辞苑」一冊、「漢和辞典」四冊が贈呈されました。同有志は、十月十六日銀座において、山田勝見先生(栄町)を招待してクラス

月三日、新春慈善ダンスパーティーを開催し、その収益金十万円を恵まれない人々に送ることにしています。

会を開催し、図書を母校に寄贈することになったものです。なお、写真を見たい方、住所や消息を知りたい方は山田勝見さん(☎③-3026)までご連絡ください

米寿者に 記念品贈呈！

郵政省では簡易保険事業の一環として、めでたく米寿を迎えられる方々に毎年

記念品を贈呈しています。本年度も米寿(明治二十二年生れ)の方々に、金木郵便局長が郵政大臣のお祝い状と記念の湯のみをお届けしました。

まちの話題

あらいのぶまさくん
「町長になったらやりたいこと」
川倉小学校六年生に聞く

いづみやかつあきくん

とのさきたかあきくん

遊園地や
デパートの
商業を
発展させ
たい。

美しい
町づくり
交通事故の
ない町に
したい。

体育館を
つくりたい
藤枝にバス
を通し
交通を
便利に
したい。

年越し、正月

小正月

一家の主人であるオドは今日は詰の町買である。

オドは子供たちの好きなタコ、カレイ、自分とオガの好きなナマコ、カスベ、長ザメ、それにカドウザメの白肉など、財布をはたいて買うのである。それをナンダラに背負って、雪道を家に帰ってくる。

もう煤払いも済み、障子も張り替え、常居のむしろは自家で織った新しい菅むしろに取り替えた。(古くから囲炉裡の灰も全部新しくし、カギノハナ(自在鍵)も新しい縄のものと取り替えてある。

オガはゆうべ夜なべをしてひき臼で豆をひいて、きなこをどっさりこしらえた。オドは家に帰るとさっそ

く、しめ縄を張った。オドはオバコやアネに手伝わせて、オドが買って来た魚で

年越し料理をつくるのに大忙しである。子供たちは綺麗に掃除された家の中で、うれしそうにはしゃぎまわっている。

料理が出来るところにはオドの役目である神棚や仏様の掛軸も掛け終わって準備万端終了だ。家族そろって神様と仏様を拜んでからオドがお供え餅をへげ(盆)に入れ、お神酒を持って入口からかまど(火焚場)台所、作業場、便所まで拜んでくる。

また、一家から家族が兵隊にいつている家や、松前樺太方面に出稼ぎにいつているところでは、その人たちの分のお膳もつくって、みんなのお膳と一緒に並べ

る。いよいよお膳が運ばれて子供たちはめいめいの席にすわる。ふだん見たこともない山海の珍味に、子供たちは大はしゃぎだ。お腹がパンク寸前まで食べる。

今では年越しそばを食べるようになったが、当時の農家ではとてもそんなぜいたくなど出来なかった。

明ければ元日。元日にはオドに連れられて八幡宮へ早朝お参りにゆく。帰って来るとみんなそろってお膳につく。オガは「今朝は元日でお岩木山の日(朝日(ついたち)」だはで、朝だけ精進だ。」と言って、ワラビ、フキ、キノコの塩出したものを昆布でだしとったおいしい汁をつくる。年越しのお膳でお腹がパンクするほど魚料理を食べたあと、このあっさりした汁はじつにさっぱりしてよかった。

ついでに小正月のことも記しておく。小正月のことを女正月ともいう。嫁にいつている女の人たちが里帰りする習慣になっていたからそう称したと思う。小正月のご馳走はキャノシル(ケノシルともいう)だ。

ワラビ、ゼンマイ、フキ大根、ゴボウ、ニンジン、凍豆腐、油揚げ、昆布などの材料にジンダ(豆をすり潰してまるめたもの)を加え、ぐつぐつと長時間煮詰めた汁である。この汁で雑煮餅をつくってもうまかった。

私の思い出の一つ。小正月の十六日の昼、一番上の姉が紫のお高祖頭巾をかぶって、五つになる慶作の手

をひいて、嫁ぎ先の田茂木から里帰りした。この紫の頭巾がとても似合っていて綺麗だと思った。姉はお土産にコゴリ豆を持って来たが、これはじつにおいしいかった。

しかし、その翌年の夏姉は心臓脚気を病んで二十才の若さで世を去った。夫の三次郎二十五才、慶作六才であったから、どんなにづらい思いであったか知れない。薄幸な姉であった

還付を受けるための

申告はお早めに

昭和五十二年分所得税の確定申告は、二月十六日から三月十五日までです。しかし、還付を受けるための確定申告は、一月から受付けていますから、源泉徴収された税金や予定納税をした税金が納め過ぎにな

っている人は、早く申告すれば税金の還付も早く受けられます。確定申告により税金が戻る人は次のとおりです。

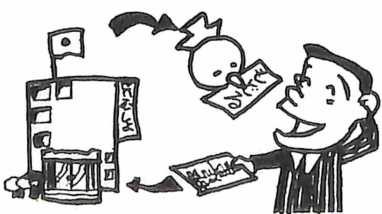
- ①サラリーマンで、雑損控除、医療費控除、住宅取得控除(初年度)などを受けることのできる人。
- ②年の中途で退職し、その後就職しなかったため年末調整を受けなかった人。
- ③特定の寄付金を支出して寄付金控除が受けられる人
- ④原稿料や利子、配当などの収入があつて、それらを含めた全体の所得があまり多くない人。
- ⑤予定納税をしていたが、休業や廃業などのため所得

慶作は立派に成人したが、第二次大戦に出征し、ビヤツク島で玉砕してしまつた

余談だが、現在金木町湯の川で彫刻師をしている大佐賀春男、行男兄弟は慶作の弟である。

小正月行事もいまではやる人がなくなつたが、私にとってはあの姉の紫の頭巾が忘れられない日なのである。(「金木郷土史」より)

が前年より大幅に減つた人確定申告書に添付しなければならぬ書類や書き方などわからないことがありましたら、最寄りの税務署か税務相談室へお気軽におたずねください。



ねんきんコーナー

「成人の日」と

国民年金

付加保険料を

納めて、より

高い年金を

一月十五日は成人の日。この日、日本全国で約百六十万人の満二十歳の成人が社会人として巣立っています。

選挙権を初め、酒、タバコも「解禁」になるわけですが、将来の生活を守る国民年金にも加入できるようにあります。

「年金」といいますと、まだまだ先のことのように考えられがちですが、将来受け取る年金は、加入が早ければ早いほど有利です。

満二十歳の誕生日を迎えたら国民年金への加入手続きをしましょう。

ただし、厚生年金などの公的年金に加入している人は必要ありません。

定額保険料は、五十三年三月までは一ヵ月二千二百円です。四月からは二千七百三十円となります。

国民年金には、将来、より高い年金を希望する方のために、定額保険料のほか毎月四百円を上積みして納める付加保険料制度があります。

この付加保険料を納めた期間は年金額を計算する際に、ひと月について二百円で計算されます。

ですから、例えば二十五年間定額保険料と付加保険料を納めた場合は、月額三万五千五百五十八円の老齢年金に月額五千円が加算されることとなります。

付加保険料は定額保険料を納めている方なら誰でも納められますが、申し出のあったときから納めることになり、手続が早いほど有利です。

手続はごく簡単です。印鑑持参のうえ、役場国民年金係へおいで下さい。



ろう学校

入校案内

(ろう学校入学)

幼稚園(三才から五才までの耳の障害や言葉の発達に障害のあることも)
小学・中学・高等部(普通校と同年齢で耳等の障害があることも)

○学校では聴覚の訓練・言語指導・そのほか普通学校の教科の勉強をいたします

(教育相談)

○一才児から五才児までの耳や言葉の発達に異状があることについて調査・観察・検査・指導などを行います。(週一回〜二回)

○耳に障害のあることもへの家庭での接し方や扱い方について相談いたします。

※こどもさんの発音等で異状があると思われる方は

気軽に相談ください。
青森県立弘前聾学校
弘前 87-3929

電話の移転

工事について

家屋新築等で、電話の移転工事が多くなっていますが、電話局の工事部門が大変こみあっていますので、二週間前にお申し込み下さい。

高額医療費

を貸付

国民健康保険の方で、医療が高額なため支払いが困難な場合、役場保険課でその療養費を貸付けています。詳しくは保険課へおたずねください。

戸籍の窓

ご誕生おめでとう

(10月届出分)

- 伊藤 智哉(鉄広) 嘉瀬
- 沢田美加子(正) 嘉瀬
- 山田健太郎(勝治) 金木
- 木下 健吾(勝幸) 金木
- 古川 公章(正二) 喜良市

(11月届出分)

- 大橋 力也(雅明) 喜良市
- 秋谷かよみ(直次) 金木
- 桑田 里美(唯昭) 喜良市
- 荒閑 琴絵(博) 金木
- 斎藤 孝憲(岩憲) 嘉瀬
- 黒滝こずえ(幸三) 藤枝

ご結婚おめでとう

(10月届出分)

- 津島 宏和(隆) 金木
- 其田 一海(秋夫) 嘉瀬
- 前田 洋典(文男) 神原
- 藤田 愛子(登喜夫) 嘉瀬
- 今 拓也(修治) 喜良市
- 中村 倫子(正春) 金木
- 松橋 新二(兼秋) 喜良市
- 成田 寿(俊信) 中柏木
- 松川 浩樹(宏) 嘉瀬
- 加藤 伸行(正昭) 喜良市
- 田中 忍(融) 蒔田
- 中井 祐児(清悦) 金木
- 渋川 ユカ(廉保) 金木
- (田名部豊治(武五郎) 青森)
- (田中 珠紀(テツ) 金木)
- (宮川 昭男(勝二) 青森)
- (今るり子(勇左エ門) 喜良市)
- (三枝 光夫(俊夫) 弘前)
- (山田 昭子(ミヨ) 金木)
- (平子 進(チヨ) 青森)
- (桑田 睦子(直一) 喜良市)
- (工藤 文裕(長七) 藤枝)
- (古川 梅美(芳之丞) 市浦)
- (丸山 一夫(昇) 茨城県)
- (白川静江子(兼丸) 川倉)

人口と世帯数

男	7,302
女	7,410
人口計	14,712
世帯数	3,697
(S52. 11. 30現在)	

- (角田 豊昭(豊吉) 金木 長尾多輝子(甚五郎) 金木 伊藤 均(定五郎) 嘉瀬 笹田 良子(光夫) 稲垣 (中谷 幸栄(由松) 川倉 阿部 京子(辰雄) 中里 (工藤 光弘(弥三郎) 金木 三上 昭子(繁昭) 五所市 (奈良 繁成(民一) 喜良市 其田ノリ子(昭治) 嘉瀬 (佐藤 隆雄(幸一) 青森 白川 せつ(孝吉) 川倉 (白川 澄治(マサ) 金木 須藤 静子(秀雄) 青森 (伊藤 恵(定雄) 嘉瀬 藤原みち子(政雄) 東京都 (梅野 昭次(吉三) 愛知県 今よし子(与之助) 喜良市 (尾野 晴光(善信) 木造 野宮くみ子(ミツヨ) 金木 (福士 靖悟(国雄) 金木 木村邦子(敬太郎) 群馬県 (原田栄之進(謙造) 藤ヶ沢 田附 良子(義治) 藤ヶ沢
- (古川 昭雄(キヨ) 中柏木 吉村三枝子(主税) 山口県 今 藤幸(藤雄) 喜良市 石戸谷敏子(証一) 稲垣 (三浦 奉雄(雄蔵) 金木 田村 順子(隆) 群馬県 (津島 浩治(金太郎) 金木 佐原るり子(智雄) 東京都 (坂本 茂(千代太郎) 藤枝 松谷 恵子(十二) 中里 (藤本 京二(金尾) 嘉瀬 高橋 良美(育代) 東京都 (北川 大成(亥之助) 金木 高橋 のり(昭一) 五所市 (田中 満(茂造) 中里 (秋元喜代子(重次郎) 金木 (対馬 省一(米雄) 五所市 工藤 正子(俊男) 喜良市 (田中 昭次(進) 金木 足立砂依子(いすず) 愛知 (浜田 孝(豊平) 静岡県 岡田 照子(与之助) 時田 (野宮 繁(武敏) 岩木町 夏坂美津子(徳蔵) 金木 (白川 武(竹治) 金木 田中 繁子(照義) 川倉
- (工藤孝憲(与右衛門) 川倉 一戸 まき(哲夫) 青森市 (鳴海 清文(一雄) 嘉瀬 桜井キヨエ(喜佐男) 鶴田 (吉田 隆雄(文治) 金木 内田 洋子(二) 愛知県 (大橋 和夫(勇五郎) 金木 本堂 明子(孝一) 平内町 (泉谷 博治(信一) 川倉 工藤 節子(連城) 稲垣村 (駒村 和久(孝吉) 長野県 沢田留美子(誠一) 嘉瀬 (川島 登(源太郎) 中里 伊丸岡雪子(兼作) 喜良市 (太田 石男(石助) 喜良市 赤石 七重(ふさ) 中里町 (工藤 毅(多十郎) 車力 鳴海 とき(そと) 嘉瀬 (泉谷 孝司(幸見) 喜良市 今 繁子(定平) 喜良市 (田中 多市(長三郎) 金木 片山 雪子(藤夫) 稲垣村 (白川 均(栄一) 川倉 泉谷富士子(林蔵) 北海道 (江口 隆三(春雄) 佐賀市 中村ゆみ子(兼雄) 喜良市 (佐藤博文(岩太郎) 喜良市 宮前 京子(里司) 群馬県 (山上 茂(徳寿) 五所市 木村 馨(忠三三) 喜良市 (斎藤 知二(亀七) 嘉瀬 長内 康子(隆吉) 木造町 沢田 清次(清一) 金木 下元千代三(森吉) 高知県
- (泉谷 正幸(正弘) 川倉 米谷真喜子(秀雄) 市浦村 (古川 政信(政一) 喜良市 平山 淳子(義松) 五所市 (大橋 次夫(ミセ) 喜良市 秋元 福子(金作) 時田 (山田和雄(弥右エ門) 金木 中村 恵子(貞夫) 稲垣村 (芳賀 章(利則) 木造町 米谷 優子(豊七) 喜良市 (福士 裕章(雄蔵) 金木 工藤恵子(嘉四夫) 中里町 (近藤 良一(邦美) 喜良市 長尾道子(忠次郎) 五所市
- (泉谷 好年(衆五郎) 川倉 秋田 文子(一) 中里町 (斎藤 鉄美(亀一) 嘉瀬 平川 正子(由光) 嘉瀬 (佐藤 寿治(和六) 深浦町 阿部まり子(きぬえ) 金木 (小野重良(雄四吉) 五所市 泉谷あつ子(良七) 川倉 (今芳夫(万五四郎) 喜良市 山本 道子(宗春) 山梨県 (奥寺 仁(源太郎) 三厩村 泉谷とし子(衆五郎) 川倉



おみやげ
申あげます

- (10月届出分)
津島 れ (72) 金木 岡田 慶一(84) 喜良市 山田 キワ(83) 金木 斎藤 きよ(83) 嘉瀬 古川 政幸(41) 中柏木 今 良治(45) 喜良市 成田 豊吉(74) 藤枝 木川武四郎(71) 喜良市 沢田由美子(1) 嘉瀬
- (11月届出分)
川島金四郎(77) 喜良市 伊藤 政武(59) 川倉 加藤 由松(65) 金木 山崎 チョ(74) 金木 土岐 武七(73) 嘉瀬 笹木 秀七(78) 金木 松田 ミエ(69) 喜良市 白川 兼雄(61) 時田 土岐 武蔵(81) 嘉瀬 木下 行雄(38) 嘉瀬 木下 マサ(81) 嘉瀬 富士 しよう(80) 金木 蝦名 由夏(4) 金木 水上孝次郎(73) 金木

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく。
待望の新年号もようやくできあがりしました。今回は町長・議長年の辞がありますので、もっと早くみなさんに配布しなければいけないのですが、雑務に追われて申し訳なく思っています。
新たに「金木夜話」を掲載いたします。金木郷土史の中から抜粋していますが、みなさんの中で「夜話」「昔話」などご存じの方は、お知らせくだされば掲載したいと思います。
今年には町長選挙があります。金木町政の先導者を選ぶ選挙です。決して、買収供応にまどわされることなく、正しい一票を投じましょう。投票日は3月21日です。ひとりの棄権者もないように、自分に与えられた一票を町政に反映させましょう。